



令和5年度 黒田小学校グランドデザイン



富士宮第一中学校

【学校教育目標】
自信を持って
活動する生徒

学校教育目標

自分事として学び、共に活動する子

富士宮第三中学校

【学校教育目標】
志を立て、
共に学ぶ生徒

学校経営目標

楽しくて夢中になる活動を共につくる

Plan

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

次のPlan

16 平和と公正を
すべての人に



- インクルーシブ教育の推進を図る。
- 特別支援教育の充実を図る。
- 特別活動を中心に、人間関係の形成を図ると共に、子供が創意工夫できる場を設定する
- 学級活動を中心に、自己調整力を育成する。
 - ・よいこと見付け
 - ・「黒田小みんなの約束」
 - ・メディアルール
- 特別の教科道徳を要として、道徳性を育てる。
- いじめ・不登校の未然防止のため、個の思いに寄り添い、居場所づくりに努める。

4 質の高い教育を
みんなに



- 研究テーマ
「自分事として、
学びを深める子供の育成」
- 「魅力的な単元構想・深まりのある対話的な学び・振り返り」等について研修を深める。
 - デジタルとリアルを目的に応じて組み合わせた授業改善を行う。
 - 「語彙力」「聞く力」「伝える力」を高め、対話力を育成する。
 - ビブリオバトル等の質の高い読書活動、富士山学習「月の輪」の探究学習を推進する。
 - 「学習スピーチ」を活用する。
 - 情報モラル教育を行い、情報活用能力を高める。

3 すべての人に
健康と福祉を



- 子供が個々に目標を持ち、自ら健やかな体づくりへ取り組めるための工夫を行う。
 - ・教科体育の充実
- 健康で安全に過ごすための知識・技能を生活に生かすように工夫をする。
 - ・学校安全教育・防災教育
 - ・健康教育・感染症予防教育
 - ・新しい生活様式の習慣化
 - ・食育指導・学校保健委員会
 - ・防犯教育・避難訓練
 - ・けが事故防止

Do

【育成する資質・能力】

- 1 問いを解決するための知識及び技能
- 2 知識及び技能を活用した思考力・判断力・表現力
- 3 問いを積み重ねる力

Check

Act

- ◇学校評価の分析を基にした改善
- ◇校務支援システムを活用した改善
- ◇職員会議等による取組の見直し
- ◇情報の発信・受信（便り、HP）

- ◇学校評価の実施と分析
- ◇学年主任会での学年目標の進捗状況の確認
- ◇教職員による自己評価の実施と分析
- ◇学校評議員、地域の有識者との連携
- ◇学力・学習状況調査等の分析

地域との連携・協力（開かれた学校）

- ◇地域学校協働本部事業の推進
- ◇生活科・月の輪学習での関わり
- ◇学校・地域の安全・安心づくり
 - ・交通指導
 - ・見守り隊の協力
- ◇お話列車（読み聞かせ）との連携
- ◇地域行事への参加

関係機関との連携・協力

- ◇学校医、薬剤師等との連携
- ◇警察との連携
- ◇SC、SSWとの連携

11 住み続けられる
まちづくりを



家庭との連携・協力

- ◇欠席遅刻の連絡
- ◇早寝・早起き・朝ごはん、あいさつの習慣化
- ◇家庭学習の見届け
- ◇家庭読書の奨励
- ◇基本的生活習慣・メディアルールの徹底



令和4年度 黒田小学校グランドデザイン

令和4年8月25日版



学校教育目標

富士宮第一中学校
自信を持って活動
する生徒

- (1) 生きて働く知識・技能
- (2) あらゆる状況に対応できる思考・判断力
- (3) 自らの生活を改善していく力や態度

育成する資質・能力(問題解決能力)

- (1) 意味の理解をとまなう知識及び技能
- (2) 対話力を高める思考力・判断力・表現力
- (3) 価値ある問いを持つ力

富士宮第三中学校
心豊かに、共に学
ぶ生徒

- (1) 情報収集し、分析する力
- (2) 気づき、考える力
自分で判断し行動する力
- (3) 自己調整する力

学校経営目標

「明日も来たい!!」と思える学校を共につくる

Plan

ICT機器を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」

Do

16 平和と公正を
すべての人に

いい笑顔

4 質の高い教育を
みんなに



輝く瞳

3 すべての人に
健康と福祉を



光る汗

- 特別活動を中心に子供が創意工夫できる場を設定する。
 - ・心の伝わるあいさつ
 - ・ふわふわ言葉
 - ・委員会活動の工夫
- 学級活動を中心に、自己指導能力を育成する。
 - ・よいこと見付け
 - ・振り返りカードの工夫
 - ・「黒田小よい子の約束」
 - ・メディアルール
- 特別の教科道徳を要として、道徳性を育てる。
- いじめ・不登校の未然防止のため、個に寄り添い、居場所づくりに努める。
- 特別支援教育の充実を図る。

- 研究テーマ
「協働的な学びを通して自己の学びを深める児童の育成
～単元全体で資質・能力を育む～」
- 「魅力的な単元」「深まり」「振り返り」を研究する。
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還の実現を図り、思考力を高める授業を研究する。
 - 「語彙力」「聞く力」「伝える力」を高め、対話力を育成する。
 - 質の高い読書活動、富士山学習「月の輪」の探究学習を推進する。
 - 「学習スピーチ」「家庭学習パワーアップ週間」を活用する。
- 発達段階に応じたビブリオバトルの実施

- 子供が個々に目標を持ち、自ら健やかな体づくりへ取り組む工夫をする。
 - ・教科体育の充実
- 黙働清掃等により、「仕事を見付ける」ことを働きかける。
- 健康で安全な生活のための知識・技能を生活に生かせる子を育成する。
 - ・学校安全教育・防災教育
 - ・健康教育・感染症予防教育
 - ・新しい生活様式の習慣化
 - ・食育指導・学校保健委員会

学校保健経営

- ☆心も体も健康で安全・安心な学校づくりの推進
- ・感染症対策と危機管理意識

学校事務経営

- ☆専門性を機能させた学校経営への参画
- ・教材教具の充実

- ◇学校評価分析からの修正
- ◇校務支援システムの活用
- ◇職員会議での提案
- ◇週報の活用
- ◇情報の発信・受信
(学校だより、HP)

Act

- ◇教育アンケートの実施と分析
- ◇「チャレンジ!!黒田っ子」の実施と分析
- ◇学年主任会での学年目標の進捗状況の確認
- ◇分掌部会の定期的な開催
- ◇教職員による自己評価の実施と分析
- ◇学校評議員、地域の有識者との連携
- ◇学力・学習状況調査等の分析

Check

◇SC、SSWとの連携

関係機関との連携・協力

◇学校医、薬剤師等との連携

地域との連携・協力(開かれた学校)

- ◇地域学校協働本部事業の推進
- ◇生活科・月の輪学習での関わり
- ◇学校・地域の安全・安心づくり
朝の交通指導、見守り隊の協力
- ◇お話列車(読み聞かせ)との連携
- ◇地域行事への参加 ◇公民館との連携

11 住み続けられる
まちづくりを



保護者の協力

- ◇早寝・早起き・朝ごはん、あいさつの習慣化
- ◇家庭学習パワーアップ週間(家庭学習の見届け)
- ◇自主勉強・家庭読書の奨励 ◇学習スピーチの実践
- ◇メディアルールの徹底
- ◇心身状態の把握、欠席遅刻の連絡